

## ◆奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 教授

### 高橋 淑子 (たかはし よしこ)

#### ○ 略歴：

- ・ 1988年 京都大学大学院理学研究科生物物理学専攻博士課程修了（理学博士）指導教官 竹市雅俊教授
- ・ 1988年 CNRS（フランス）発生生物学研究所客員研究員
- ・ 1991年 オレゴン大学（アメリカ）客員研究員
- ・ 1994年 北里大学理学部生物科学科専任講師
- ・ 1998年 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科助教授
- ・ 2001年 理化学研究所 発生再生科学総合研究センター チームリーダー
- ・ 2005年 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科教授
- ・ 2010年 第30回猿橋賞受賞

#### ○ 講演題目： 「卵から体が出来上がるしくみ ～細胞の社会～」

○ 講演概要： 動物の発生過程では、最初は一細胞だった受精卵が分裂を繰り返して、やがて脳、心臓、骨といったさまざまな器官が作られます。このとき、器官をつくる細胞が驚くパワーを発揮します。細胞が作り上げる「社会」は、人間社会とそっくりです。隣同士の細胞が盛んに「おしゃべり」をしたり、互にくっついたり離れたります。体の中を遠くまで「旅」する元気な細胞もいます。このような細胞の振る舞いに異常が生じると、私達の体づくりはうまくいきません。本講演では、体作りのために働く細胞たちのさまざまな「仕事ぶり」をご紹介します。